

令和 年 月 日

## 工期延期願

守口市水道事業管理者 殿

住所  
請負者  
氏名 印

別紙理由により、下記のとおり工期延期をお願いします。

記

工 事 件 名	
工 事 場 所	
工 期	令和 年 月 日から
	令和 年 月 日まで
延期希望年月日	令和 年 月 日まで ( 日間)

令和 年 月 日

## 出来高検査願

守口市水道事業管理者 殿

住所  
請負者  
氏名 印

次の通り検査対象部分がありますので、出来高検査をお願いします。

記

工事件名			
工事場所			
工期	令和 年 月 日から	令和 年 月 日まで	
契約金額	円		
検査事項			
備考		收受日付印	

令和 年 月 日

工 事 完 成 届

守口市水道事業管理者 様

住所

請負者

会社名

代表者名

印

次のとおり工事が 完 成 しましたのでお届けします。

記

契 約	始 期	令和 年 月 日	実 施	着 手	令和 年 月 日
	終 期	令和 年 月 日		完 成	令和 年 月 日
工 事 件 名					
工 事 場 所					

○ この欄は、契約規則第28条第2項の規定により検査調書の作成を省略する場合に用いる。

契 約 金 額	円
検 査 職 員	印
立 会 人	印
認 定 日	令和 年 月 日

収 受 印

Large dashed box for receiving stamp.

令和 年 月 日

## 指 定 部 分 引 渡 書

守口市水道事業管理者 殿

住所  
請負者  
氏名 印

下記の工事物件は、令和 年 月 日に指定部分が完成し、検査に合格しましたので、令和 年 月 日をもって貴局に引渡しいたします。

### 記

工 事 件 名	
工 事 場 所	
工 期	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
指定部分の内容	
備 考	

令和 年 月 日

守口市水道事業管理者 殿

住所  
請負者  
氏名 印

## 工 事 物 件 引 渡 書

下記の工事物件は、検査に合格しましたので、令和 年 月 日をもって  
貴局に引渡しいたします。

記

工 事 件 名	
工 事 場 所	
契 約 工 期	自 令和 年 月 日から 至 令和 年 月 日まで
検 査 合 格 日	令和 年 月 日

令和 年 月 日

## 支 給 品 受 領 書

守口市水道事業管理者 殿

住所

請負者

氏名

印

(現場代理人

)

令和 年 月 日契約に基づく

工事の支給品

内 訳

品 目	規 格	数 量	単 位	備 考

上記物品正に受領いたしました。

工事完成の上は精算し、残物品があれば、  
御指定の場所へ返還いたします。

収 受 印

(注) 請負者が記名押印し難い場合は、現場代理人の記名押印をもって替えることができる。

令和 年 月 日

## 支給品精算書

守口市水道事業管理者 殿

住所  
請負者  
氏名 印  
(現場代理人 )

下記のとおり支給品を精算します。

工事件名						
契約年月日	令和 年 月 日					
品 目	規 格	単 位	数 量			備 考
			支給数量	使用数量	残数量	
監督員	上記精算について事実相違ないことを証明する。 令和 年 月 日			受払簿記入(收受印)		
	職氏名			印		

(注) 請負者が記名押印し難い場合は、現場代理人の記名押印をもって替えることができる。

令和 年 月 日

## 工場検査願

守口市水道事業管理者 殿

住所

請負者

氏名

印

(現場代理人

)

令和 年 月 日付けで請負契約を締結した下記工事について、工場検査をお願いします。

### 記

工 事 件 名	
工 事 場 所	
契 約 金 額	
工 期	令和 年 月 日から
	令和 年 月 日まで

1. 検査対象名 (仮組検査、材料検査または品名等)

2. 検査場所

3. 検査希望年月日 令和 年 月 日

4. 検査項目 (項目別に列記、寸法検査、強度検査等)

5. 検査方法 (詳細を必要とするときは、別紙に検査要領書として添付すること)

6. その他

担当者名及び工場所在地略図

検査日程予定表

(注) 請負者が記名押印し難い場合は、現場代理人の記名押印をもって替えることができる。



(別紙)

担当者名及び工場所在地略図

工場名

所在地

担当部課名

担当者番号、電話番号

大阪から工場に至るまでの経路の概要  
(大阪府下の場合は最寄り駅から)

---

工場所在地略図

N

検査日程予定表

令和 年 月 日

## 現場発生品届

総括監督員 殿

現場代理人 氏名

印

令和 年 月 日契約の  
における下記の発生品を納入します。

工事

記

品名	規模	単位	数量	発生工種	摘要
監督員	上記、発生品について正に受領いたしました。 令和 年 月 日 職氏名			受払簿記入（收受印） 印	

令和 年 月 日

## 施 工 管 理 記 録 届

総 括 監 督 員 殿

現場代理人 氏名

印

下記の工事について、別紙のとおり施工管理を行いましたので報告いたします。

記

1 工事件名

---

2 工 期

令和 年 月 日から令和 年 月 日

---

総括監督員	主任監督員	一般監督員

令和 年 月 日

## 緊急連絡者届

総括監督員 殿

住所  
工事請負者 会社名  
氏名  
印

工事件名

---

工事場所

---

記

	氏名	住所	電話番号	備考
現場代理人				
主任技術者				
配管工				

総括監督員	主任監督員	一般監督員

令和 年 月 日

## 承 諾 書

総 括 監 督 員 殿

現場代理人 氏名 印

下記のとおり 施 工 したいので御検討の上、承諾ください。

記

1 工事件名

---

2 承諾内容

---

記 事

上記願い出の件承諾する。

令和 年 月 日

総 括 監 督 員 印

令和 年 月 日

## 承 諾 書

総 括 監 督 員 殿

現場代理人 氏名 印

下記のとおり 変 更 したいので御検討の上、承諾ください。

### 記

1 工事件名

---

2 承諾内容

---

記	事	
	残土	当初 変更
	産廃	当初 変更

上記願い出の件承諾する。

令和 年 月 日

総 括 監 督 員 印

令和 年 月 日

## 承 諾 書

総 括 監 督 員 殿

現場代理人 氏名 印

下記のとおり 使 用 したいので御検討の上、承諾ください。

### 記

1 工事件名

---

2 承諾内容

---

記 事

上記願い出の件承諾する。

令和 年 月 日

総 括 監 督 員 印

令和 年 月 日

# 承 諾 書

総 括 監 督 員 殿

現場代理人 氏名 印

下記のとおり

したいので御検討の上、承諾ください。

記

1 工事件名

2 承諾内容

記 事

上記願い出の件承諾する。

令和 年 月 日

総 括 監 督 員

印

総括監督員	主任監督員	一般監督員





整理番号

令和 年度

# 明示杭控記録図

工事件名			
明示場所	守口市	町 丁目	番地先
記録日	令和 年 月 日	付近見取図 N	
記録者			
備考			
<u>平面詳細図</u>			
			現場代理人

令和 年 月 日

## 品質管理届

総括監督員 殿

現場代理人 氏名

印

下記の工事について、別紙のとおり報告いたします。

### 記

1 工事件名

---

2 報告内容

---

総括監督員	主任監督員	一般監督員



総括監督員 殿

水圧試験結果報告書 (第 回)

工事件名

工事場所

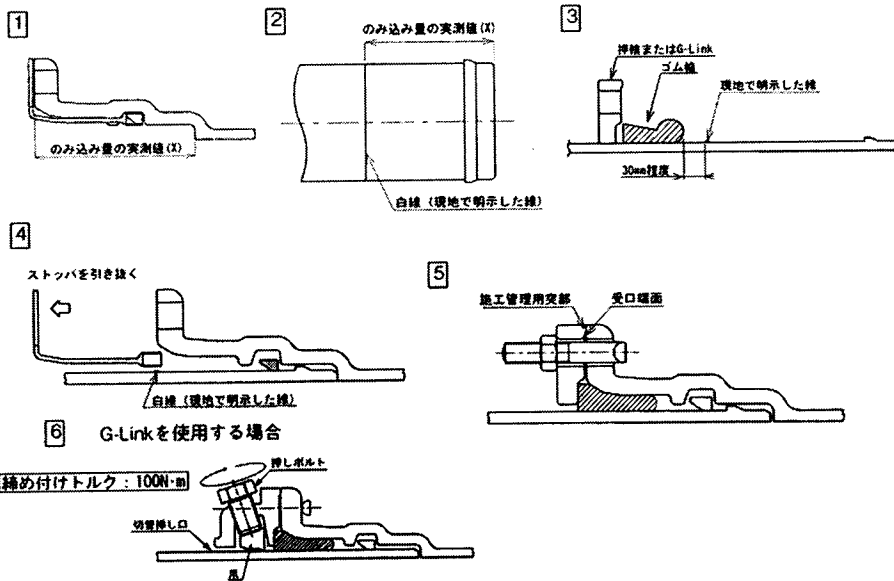
実施年月日 令和 年 月 日

管径	継手種類	試験水圧	継手部 からの漏れ	仕切弁 からの漏れ	消火栓 からの漏れ
φ	形	Mpa	有 無	有 無	有 無

自  
記  
録  
計  
貼  
付

請負業者  
現場代理人  
担当者

# GX形継手 チェックシート(異形管・G-Link)

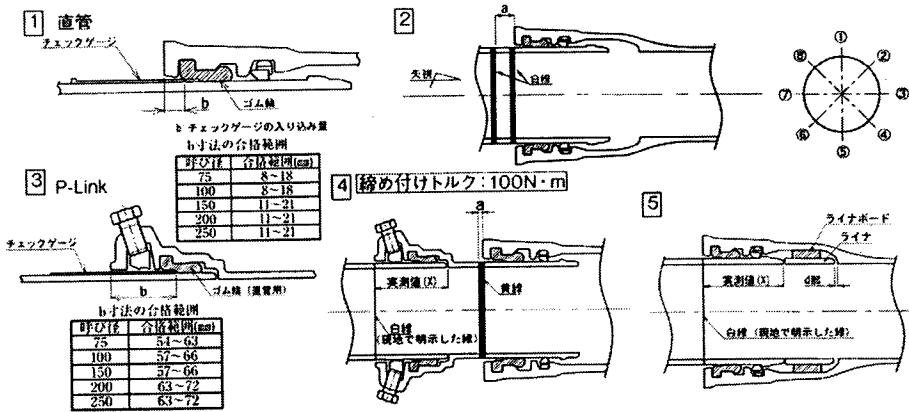


管 No									
管の種類									
略図									
継手 No.									—
挿し口突部の有無 <sup>注)</sup>									—
清掃									—
滑剤									—
挿し口挿入量の明示									1・2
爪、押しボルトの確認 (G-Link)									
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認									3
ストップバ、ロックリングの確認									4
T頭ボルト	本数								5
受口端面～ 施工管理用突起部の隙間 ※	箇所数								5
	隙間ゲージ 確認								
押しボルト	本数								6
	トルク確認								
判定									—
判定基準	※1 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突起部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。 注) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。								

備考

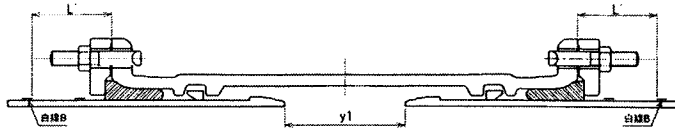
現場代理人 印  
継手施工者 印

# GX形継手 チェックシート(直管・P-Link)

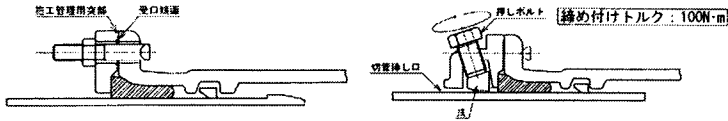


管 No									
管の種類									
略図/ライク									
継手 No.									—
挿し口突部の有無									—
清掃									—
挿し口挿入量の明示									4・5
受口溝 (ロックング) の確認									
爪、押しボルトの確認 (P-Link)									
受口端面～ゴム輪 間隔 (b) ※1	全周チェック								1・3
	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
	⑦								
受口端面～白線 (黄線) 間隔 (a)	①								2・4
	③								
	⑤								
	⑦								
押しボルト	本数								4
	トルク確認								
ライナの位置確認 (d部) ※2									5
マーキング (白線) 位置の確認 ※3									
判定									—
判定基準	※1 受口端面～ゴム輪間隔 (b) が表に示す合格範囲内であること。 また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。 ※2 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。 ※3 接合直後にマーキング (白線) 位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。								
備考	現場代理人 <span style="float: right;">印</span> 継手施工者 <span style="float: right;">印</span>								

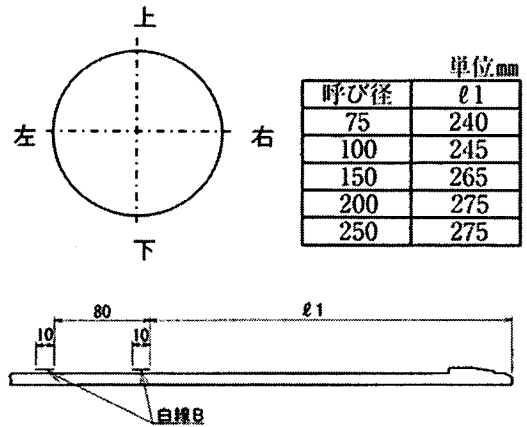
# GX形継手 継ぎ輪チェックシート



G-Linkを使用する場合



管 No			
管の種類			
略図			
継手 No.			
挿し口突部の有無 <sup>注1)</sup>			
清掃			
滑剤			
切管挿し口の白線Bの明示			
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認			
爪、押しボルトの確認 (G-Link)			
ストッパ、ロックリングの確認			
受口端面～ 白線の間隔 (L') <sup>注2)</sup>	上		
	右		
	下		
	左		
両挿し口端の 間隔 (y1) <sup>注2)</sup>	上		
	右		
	下		
	左		
T頭ボルト	本数		
受口端面～ 施工管理用突起 の間隔 ※	箇所数		
	隙間ゲージ 確認		
押しボルト	本数		
	トルク確認		
判定			



(i) 一方から順次配管していく場合

単位mm	
呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120

(ii) せめ配管の場合

単位mm	
呼び径	y1
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250

判定基準

※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突起との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。

備考

現場代理人 印  
継手施工者 印



令和 年 月 日

## 出来形管理届

総括監督員 殿

現場代理人 氏名 印

下記の工事について、別紙のとおり報告いたします。

### 記

1 工事件名

---

2 報告内容

---

総括監督員	主任監督員	一般監督員

# 出来形成果表

現場代理人： \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

主任技術者： \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

工 種												備考		
												max =		
												min =		
												n =		
												$\bar{x}$ =		
												max =		
												min =		
												n =		
												$\bar{x}$ =		
												max =		
												min =		
												n =		
												$\bar{x}$ =		
(単位: mm)														
測 点														
	設 計 値													
	出 来 形													
	誤 差													
	設 計 値													
	出 来 形													
	誤 差													
	設 計 値													
	出 来 形													
	誤 差													

## 管 布 設 工 掘 削 幅 管理図表

(単位: mm)

基準値	月 日													
上 限	測 点													
種 目														
下 限														
	+	100												
	50													
	0													
	50													
	100													
	-													
記 事														

- |   |   |
|---|---|
| <p>注 1. 工種名は土工、路盤工、側コウ工、ノリ覆工、ノリ留工等と記入する。</p> <p>2. 標題は、厚管理図表、基準高管理図表、3m平たん性管理図表等と記入する。</p> <p>3. 番号はあらかじめ測点を定め、起点から終点に向って順序に記入しておく。</p> <p>4. 月日は、測定の際、該当測点番号にあたるものを記入する。</p> | <p>5. 設計値との差の単位を定め、目盛に数値を記入する。</p> <p>6. 図表には許容範囲の線を朱書で記入する。</p> <p>7. 記事は、手直の処理等を記入承認印を押す。</p> |
|---|---|

# 出来形成果表

現場代理人：

印

主任技術者：

印

工 種												備考			
種 目												max =	min =	n =	$\bar{x}$ =
												max =	min =	n =	$\bar{x}$ =
												max =	min =	n =	$\bar{x}$ =
(単位: mm)															
測 点															
	設 計 値														
	出 来 形														
	誤 差														
	設 計 値														
	出 来 形														
	誤 差														
	設 計 値														
	出 来 形														
	誤 差														

## 管 布 設 工 (管、弁栓類土被り) 管理図表

(単位: mm)

基準値 上限	月 日												
	測 点												
種 目													
下限													
	+												
	100												
	50												
	0												
	50												
	100												
	-												
	100												
	50												
	0												
	50												
	100												
記 事													

注 1. 工種名は土工、路盤工、側溝工、ノリ覆工、ノリ留工等と記入する。  
 2. 標題は、厚管理図表、基準高管理図表、3m平坦心性管理図表等と記入する。  
 3. 番号はあらかじめ測点を定め、起点から終点に向って順序に記入しておく。  
 4. 月日は、測定の際、該当測点番号にあたるものを記入する。

5. 設計値との差の単位を定め、目盛に数値を記入する。  
 6. 図表には許容範囲の線を朱書で記入する。  
 7. 記事は、手直の処理等を記入承認印を押す。

# 出来形成果表

現場代理人：

印

主任技術者：

印

工種	H1-路床厚										備考	
種目											max =	
											min =	
											n =	
											$\bar{x}$ =	
											max =	
											min =	
											n =	
											$\bar{x}$ =	
											max =	
											min =	
											n =	
											$\bar{x}$ =	
(単位: mm)												
測点												
設計値 出来形 誤差	設計値											
	出来形											
	誤差											
設計値 出来形 誤差	設計値											
	出来形											
	誤差											
設計値 出来形 誤差	設計値											
	出来形											
	誤差											

## 埋戻工(再生砂)

## 管理図表

(単位: mm)

基準値	月日											
上限 種目 下限	測点											
	+	100										
	50											
	0											
	50											
	100											
-	100											
	50											
	0											
	50											
	100											
	-											
記事												

注 1. 工種名は土工、路盤工、側コウ工、ノリ覆工、ノリ留工等と記入する。  
 2. 標題は、厚管理図表、基準高管理図表、3m平たん性管理図表等と記入する。  
 3. 番号はあらかじめ測点を定め、起点から終点に向って順序に記入しておく。  
 4. 月日は、測定の際、該当測点番号にあたるものを記入する。

5. 設計値との差の単位を定め、目盛に数値を記入する。  
 6. 図表には許容範囲の線を朱書で記入する。  
 7. 記事は、手直の処理等を記入承認印を押す。

# 出 来 形 成 果 表

現場代理人：

印

主任技術者：

印

工 種											備考		
種 目											max =		
											min =		
											n =		
											x =		
											max =		
											min =		
											n =		
											x =		
(単位: mm)											max =		
											min =		
											n =		
											x =		
測 点													
設計値 出来形 誤差													
設計値 出来形 誤差													
設計値 出来形 誤差													

## 路 盤 工 路 盤 厚 管 理 図 表

(単位: mm)

基準値 上限 種目 下限	月 日												
	測 点												
+	100												
	50												
	0												
	50												
	100												
	-												
-	100												
	50												
	0												
	50												
	100												
	-												
記 事													

- |   |   |
|---|---|
| <p>注 1. 工種名は土工、路盤工、側コウ工、ノリ覆工、ノリ留工等と記入する。</p> <p>2. 標題は、厚管理図表、基準高管理図表、3m平たん性管理図表等と記入する。</p> <p>3. 番号はあらかじめ測点を定め、起点から終点に向って順序に記入しておく。</p> <p>4. 月日は、測定の際、該当測点番号にあたるものを記入する。</p> | <p>5. 設計値との差の単位を定め、目盛に数値を記入する。</p> <p>6. 図表には許容範囲の線を朱書で記入する。</p> <p>7. 記事は、手直の処理等を記入承認印を押す。</p> |
|---|---|

# 出来形成果表

現場代理人： \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

主任技術者： \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

工 種												備考		
												max =		
												min =		
												n =		
												$\bar{x}$ =		
種 目												max =		
												min =		
												n =		
												$\bar{x}$ =		
												max =		
												min =		
												n =		
												$\bar{x}$ =		
(単位: mm)														
測 点														
	設 計 値													
	出 来 形													
	誤 差													
	設 計 値													
	出 来 形													
	誤 差													
	設 計 値													
	出 来 形													
	誤 差													

## 舗装工舗装厚 管理図表

(単位: mm)

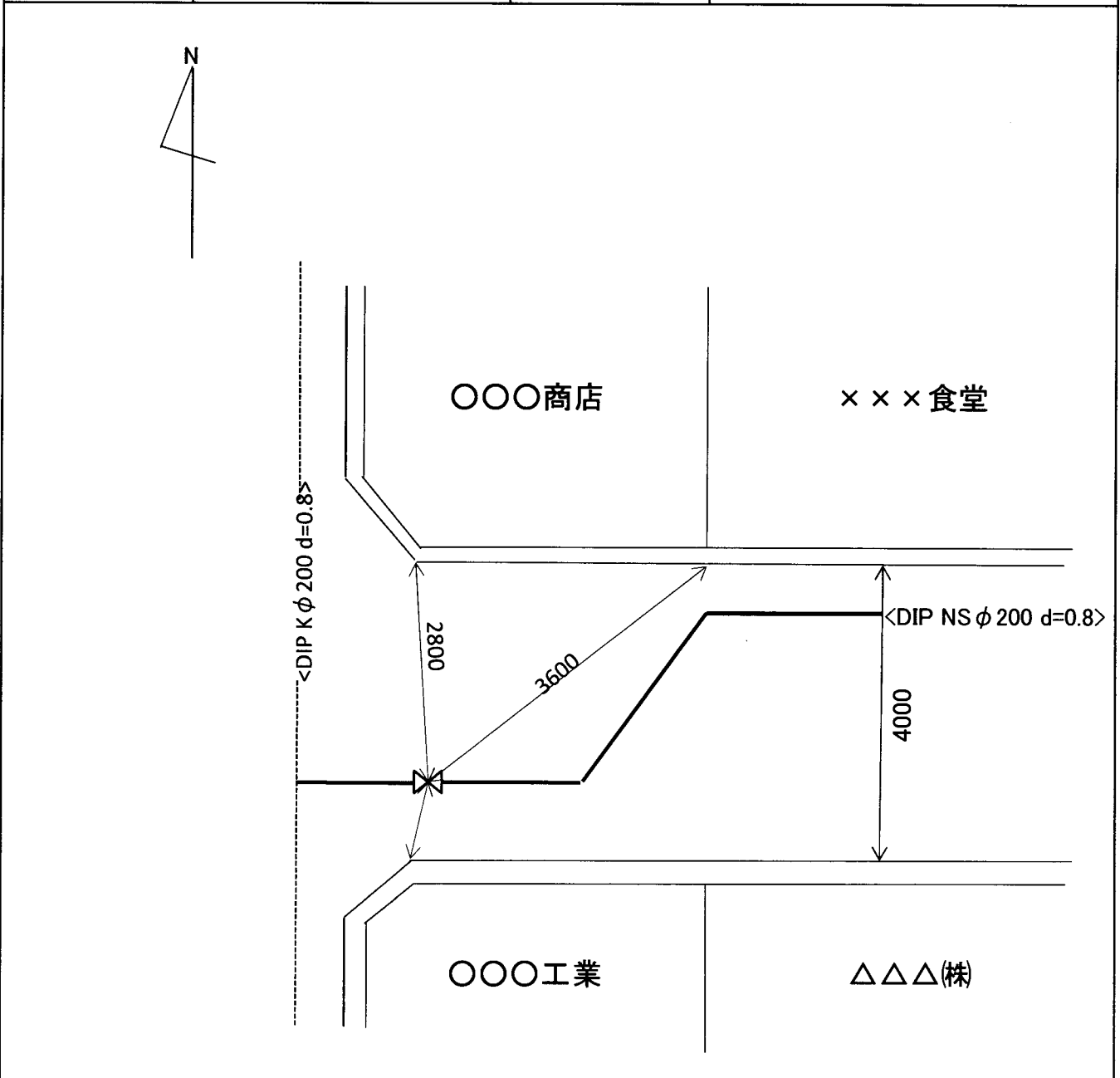
基準値	月 日													
上 限	測 点													
種 目														
下 限														
	+	10												
	5													
	0													
	5													
	10													
	-													
	+	10												
	5													
	0													
	5													
	10													
	-													
記 事														

注 1. 工種名は土工、路盤工、側溝工、ノリ覆工、ノリ留工等と記入する。  
 2. 標題は、厚管理図表、基準高管理図表、3m平たん性管理図表等と記入する。  
 3. 番号はあらかじめ測点を定め、起点から終点に向って順序に記入しておく。  
 4. 月日は、測定の際、該当測点番号にあたるものを記入する。

5. 設計値との差の単位を定め、目盛に数値を記入する。  
 6. 図表には許容範囲の線を朱書で記入する。  
 7. 記事は、手直の処理等を記入承認印を押す。

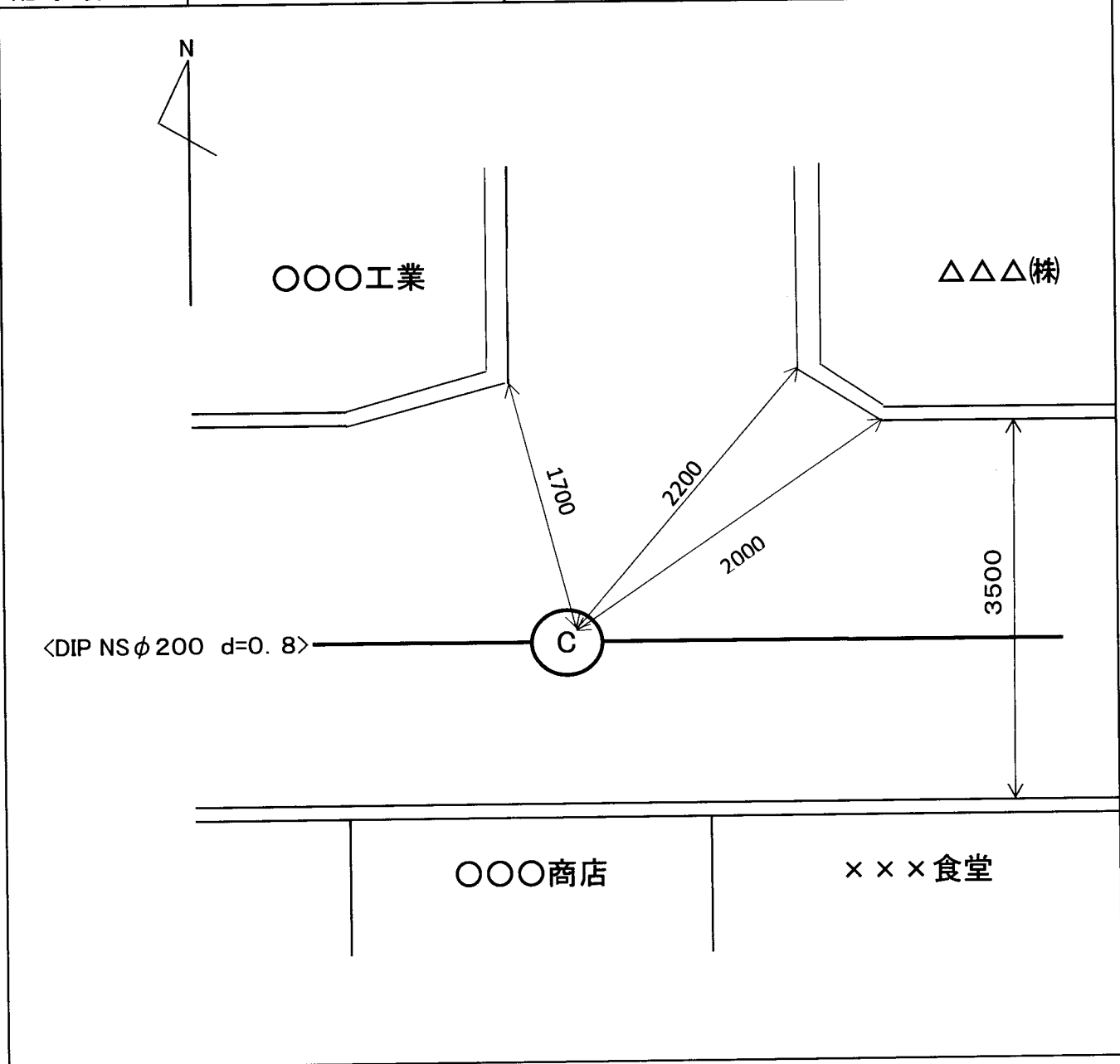
# 制水弁台帳

管理番号		工事名	配整第1工区
設置場所	守口市 京阪本通 2丁目 1番地先		
設置年月		施工業者	〇〇建設(株)
型式	JWWA B120	弁室寸法	縦 φ250 横 高さ0.8m
材質	FCD ソフトシール	弁室形質	レジンコンクリート
口径	φ200	鉄蓋種類	φ250鉄蓋
製造会社名	〇〇工業(株)	土被り	0.80 m
製造年次		試用圧力	0.75MPa(7.5kgf/cm)
回転方向	右開 (25回)	備考	



# 管 理 孔 台 帳

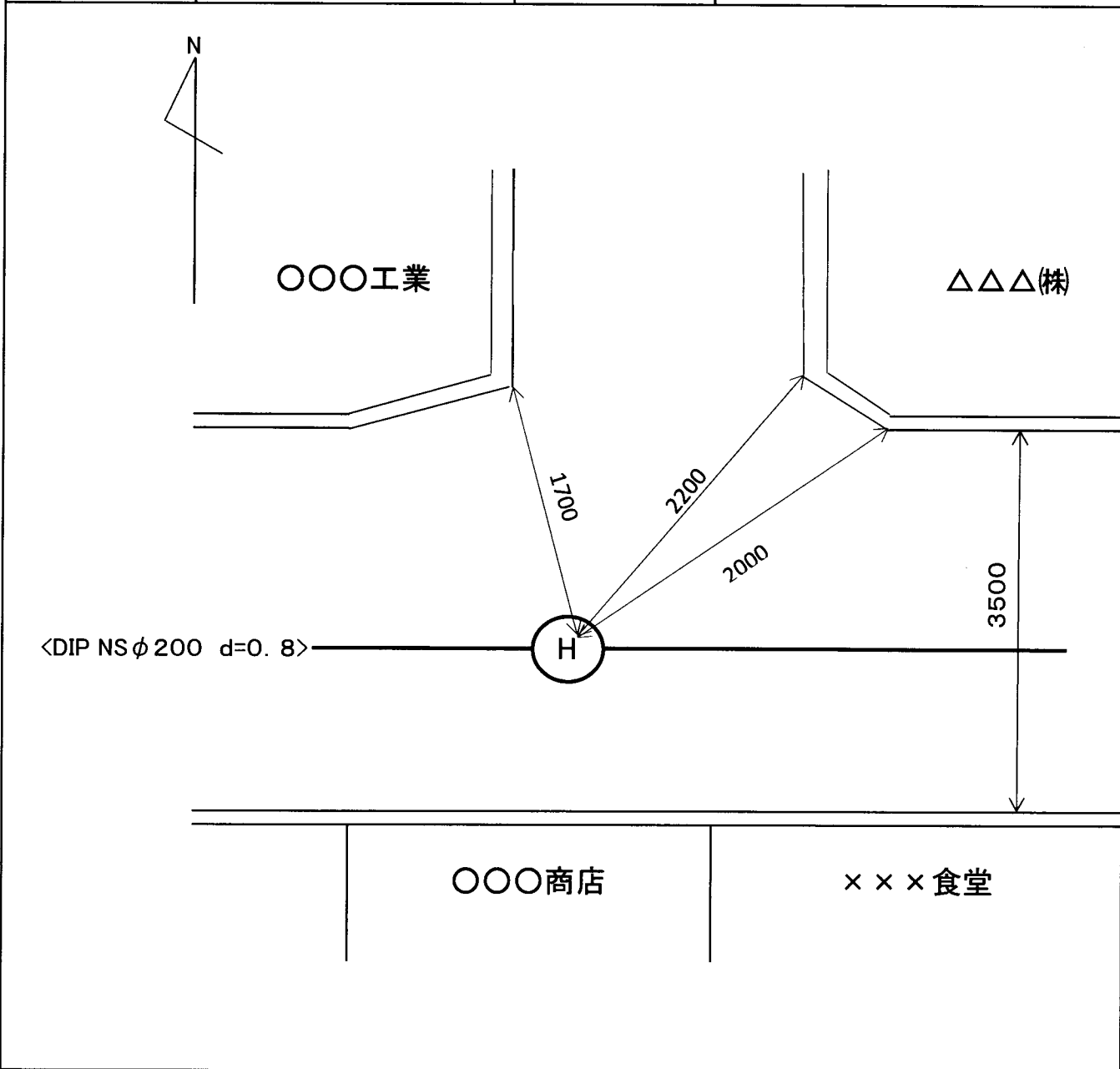
管 理 番 号		工 事 名	配整1工区
設 置 場 所	守口市 京阪本通 2丁目 1番地先		
設 置 年 月		施 工 業 者	〇〇建設(株)
型 式	JWWA B2063	弁 室 寸 法	縦 φ350横 高さ0.8m
材 質	FCD	弁 室 形 質	レジンコンクリート
製 造 会 社 名	(株)〇〇〇	鉄 蓋 種 類	丸型鉄蓋
製 造 年 次		補 修 弁 有 無	有
弁 栓 口 径	φ75	土 被 り	0.80 m
配 水 管 口 径	φ200	備 考	





# 消火栓台帳

管理番号		工事名	配整1工区
設置場所	守口市 京阪本通 2丁目 1番地先		
設置年月		施工業者	〇〇建設(株)
型式	JWWA B2063	弁室寸法	縦 φ350横 高さ0.8m
材質	FCD	弁室形質	レジンコンクリート
製造会社名	(株)〇〇〇	鉄蓋種類	丸型鉄蓋
製造年次		補修弁有無	有
弁栓口径	φ75	土被り	0.80 m
配水管口径	φ200	備考	



総括監督員 殿

## 水質試験結果報告書(第          回)

工事件名 \_\_\_\_\_

工事場所 \_\_\_\_\_

実施年月日    令和          年          月          日

管径	継手種類	試験水圧	継手部 からの漏れ	仕切弁 からの漏れ	消火栓 からの漏れ
φ	形	Mpa	有    無	有    無	有    無

請負業者

現場代理人

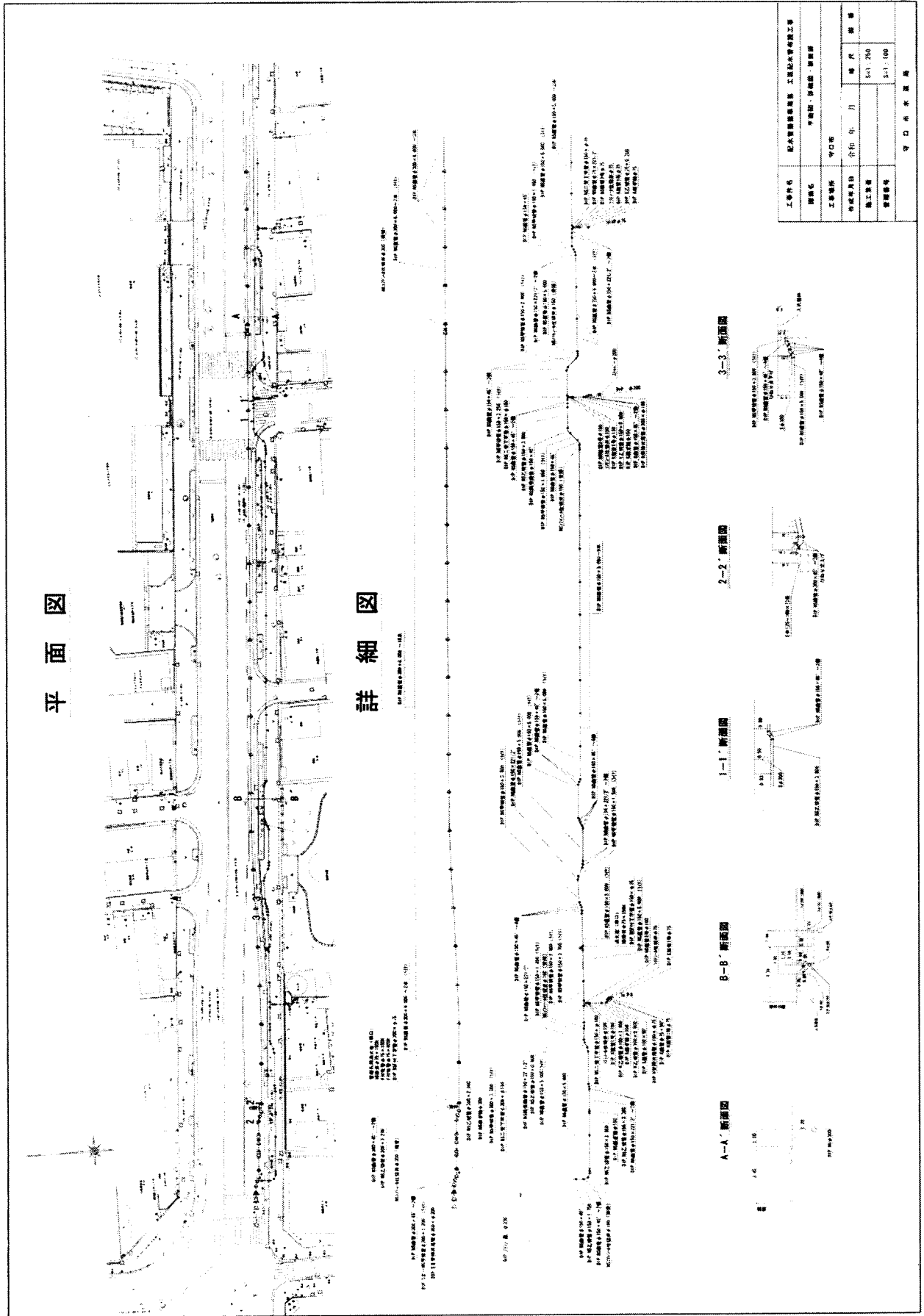
担当者

印

印



1) 平面図・配管詳細図・横断面



別表-2  
2) 給水管分岐替図

